

堀ノ内病院だより

Horinouchi Hospital

2026 年



基本理念

地域の人々と共に歩み、
良質の医療と介護を提供する病院

基本方針

1. いつでも、どのような患者さんも受け入れて
2. 最善で最良の医療と介護
3. 地域に出ていく医療と介護
4. 患者さんの納得のいく医療と介護
5. 患者さんの立場に立った医療と介護

「健康になること」と「よく生きること」

「すぐ役に立つ本は、すぐ役に立たなくなる本」

である。小泉信三の『読書論』に紹介されている言葉です。私たちは、「すぐ役に立つ」という言葉に、めっぽう弱いものです。「これを食べれば健康になる」「毎日 5 千歩歩けば長生きできる」「朝これをすれば若返る」もはや健康情報のほうが、こちらの健康状態を心配してくれています。もちろん、医学的に正しい知識を身につけることは大切です。以前外来でお会いした、70 歳くらいの男性は健康のために、毎日 5 千歩を目標にしていました。雨の日も猛暑でも頑張っ達成するとのことでした。

ただ、医師をしていると、ときどき思うことがあります。**「健康になること」と「よく生きること」は、本当に同じなのだろうか。**

私の好きな哲学者に、ドイツのマルティン・ハイデガーがいます。彼は**人間を「死への存在」**と捉えました。人間は、ただ「今」だけを生きているわけではない。これまでの人生を背負いながら、これから先のことを考えて生きています。そして、その未来には、誰にも避けることのできない終わりがあります。だからこそ、「では、自分はこの限られた時間をどう生きたいのか？」という問いが生まれてくる。

「あと何年生きられるか」だけではなく、「その時間を何に使いたいのか」と考えてみる。



健康診断の数値を良くするために歩く。もちろん、それも大切です。でも、歩いた先で友人とコーヒーを飲むのが楽しみなら、そのコーヒーのために歩くことだって、立派な健康ではないでしょうか。もしかすると、コーヒーのほうが 5 千歩より大事な日だってある。ハイデガーは、**人間が「世間の常識」に流されて生きてしまう**ことにも目を向けました。「健康のためにはこれを食べなければ」「長生きするには、こうしなければ」もちろん、どれも間違いではありません。

ただ、「みんながそう言っているから」ではなく、**「私は、本当はどうしたいのか？」**と一度考えてみる。その小さな問いが、自分の人生を自分で選ぶことにつながるのでしょうか。「すぐ役に立つ知識」は、とても便利です。でも、**人生には、すぐには役に立たないものも必要です。**

昔読んだ本。若い頃の失敗。何十年も続いている友人との付き合い。結論のないおしゃべり。何の役に立つのかわからない趣味。若い頃には「そんなもの何になるの？」と言われたものが、人生の後半になって、意外なところで効いてくることがあります。人生というのは不思議なもので、すぐ役に立つものばかり集めていると、肝心なところで「人間味」が足りなくなる。そして、人生の時間には限りがあります。だからこそ、「今日は何歩歩いたか」だけではなく、**「今日は、その一步一步をどこへ向けたのか」**を考えてみたいと思うのです。5 千歩歩いた日も正解。5 千歩に届かなかった日も正解。たくさん歩いた日は自分を褒める。あまり歩かなかった日は、堂々と休む。人生には、健康診断のような「唯一の正解」はありません。

そしてたぶん、人生というものは、**5 千歩をきっちり達成することより、歩きたい方向へ歩いていくことのほうが大切なのです。**

もちろん、途中で疲れたら休んでもいい。道を間違えたら戻ってもいい。喫茶店があったら、入ってしまってもいい。人生、案外そのくらいでいいのかもしれない。

診療情報管理室の活動報告

第52回 日本診療情報管理学会学術大会

診療情報管理室
長棟 一輝

2026年9月17日から18日にかけて、岩手県盛岡市で開催された第52回日本診療情報管理学会学術大会に参加しました。当院の取り組みを発表し、堀ノ内病院を知っていただくことを目的とした参加でした。

学会では、診療情報管理士の仕事は、データを管理するだけではなく、そのデータを活かして医療の質の向上や病院の経営にも貢献することが大切であるとの講演がありました。また、AIが進歩する中でも、倫理や判断、患者さんとの信頼関係など、人にしか担えない役割があるというお話が印象に残りました。一般演題では、統計分析を活用した研究や、RPA・生成AIによる業務効率化、データを活用した加算算定への取り組みなど、日々の業務にも活かせるような事例を数多く学ぶことができました。特に、DPC様式1の入力業務を効率化する取り組みは当院にも共通する課題であり、今後の業務改善につながるヒントとなりました。

自身の演題では「BIツールを用いた診療録質的点検の可視化と記載改善への効果」を発表いたしました。発表も無事に終わることができ、貴重な経験となりました。今回の学びを今後の業務や研究活動に活かし、診療情報管理室として地域医療に貢献できるよう取り組んでいきたいと思ひます。



このたび、当院の「身体的拘束実施率の標準化による施設基準運用の強化」が、第4回施設基準管理士 AWARDにおいて代表理事特別賞を受賞しました。

令和8年度診療報酬改定により、身体的拘束実施率の把握・公表が求められる中、従来60～80分程度を要していた集計業務を、Power Queryを活用して標準化し、20～30分程度で集計できる仕組みを構築しました。実施率を継続的に「見える化」し、多職種で共有できる基盤を整えました。

今回の取り組みを通じ、身体的拘束最小化は現場だけでなく、事務部門も診療情報の活用やデータの可視化を通じて貢献できることを実感しました。最終的には、実施率の継続的な共有を通じて、「身体的拘束を原則として行わない組織風土の醸成」につなげていきたいと考えています。

施設基準管理士は、施設基準の知識を活かし、医療機関の運営や改善を支えることができる資格です。本受賞をきっかけに、より多くの方にその役割や資格に興味を持っていただければ幸いです。



解「はなし」謎

おやじのひとりごと

私が初めて読んだ東野圭吾作品は、姉に薦められた『天空の蜂』だった。巨大テロを描いたサスペンスであると同時に、「原発の安全神話」に鋭く切り込んだ社会派小説でもある。物語の背景には、原子力発電所で働く下請け労働者の現実がある。犯人は、放射線被ばくによって友人を亡くした経験に加え、自身も体調を崩している。彼は「世の中には、ないと困るが、まともに目にするのは嫌だっものがある。原発も結局はそういうものの一つってことだ」という思いを抱いている。最後に犯人から「沈黙する群衆」へ、「原子炉のことを忘れさせてはならない。常に意識させ、そして自らの道を選択させるのだ。子供は刺されて初めて蜂の恐ろしさを知る」というメッセージが届く。それは、原発の存在や危険性を意識しようとしめない社会、そして無関心な人々への強い問いかけが込められているように感じた。

私がこの小説に驚かされるのは、こうした問題提起が約 30 年前に書かれていたことである。当時、日本では原子力発電の推進が国策として進められ、「安全神話」が広く受け入れられていた。そのような社会状況の中で、原発が抱える危うさや、そこで働く人々の犠牲に目を向けた作品が世に送り出されたことは、非常に意義深いと思う。

私は『天空の蜂』をきっかけに東野圭吾作品の魅力に引き込まれ、その後も数多くの作品を読んできた。特に好きなのは、作品に登場する、男の人生を惑わせる「魔性の女」たちである。彼女たちは、単に美しいだけではない。謎めいた魅力と危うさをまとい、男たちはその魅力に惹きつけられ、やがて支配されていく。そして、気がついたときには…。そんな女性たちを通して描かれる、男の弱さや愛の危うさ。人間の心の奥に潜む嫉妬や欲望、弱さを鮮やかに描き出しているところも、私が東野圭吾作品に惹かれる大きな理由である。日本を代表するミステリー作家として、社会派小説からエンターテインメント作品まで、幅広い世界を描き続けてきた東野圭吾さんが亡くなり、もう新たな作品に触れることができないと思うと、とても残念な気持ちになる。そして『白夜行』『幻夜』と続く物語には、さらにその先があるのでは……。なかでも、『幻夜』に登場する新海美冬とは、いったい何者なのか。作者が亡くなった今、その謎は永遠に解き明かすことができなくなった。



カツオのたたき 香味 サラダ丼



スポーツ後の疲労回復に効く
秋カツオのお手軽一品

実りの秋、そして「スポーツの秋」の到来ですね。体を動かして気分転換をした後は、美味しい食事ですっきり体力を補いましょう。今回は疲労回復に効く栄養素や良質なたんぱく質が豊富で、今がちょうど「旬」となる「秋カツオ」を使用した栄養満点で手軽にできるメニューを紹介します！しっかり食べて体力をつけて、実りの秋を元気に乗り切りましょう！

【1人前の材料】

- ・麦ご飯（押麦 3 割） 150 g
- ・カツオのたたき（刺身） 80 g
- ・大根サラダ（市販品でも可） 80 g
- ・大葉 2 枚

【たれ】

- ・ぼん酢醤油 大さじ 1 (18 c c)
- ・ごま油 小さじ 1 (4 g)
- ・しょうが（チューブ） 小さじ 1/2 (2 g)
- ・にんにく（チューブ） 小さじ 1/2 (2 g)

【栄養成分】1人分
エネルギー 404kcal
たんぱく質 25.2 g
脂質 9.7 g

【作り方】

- ① たれの材料を混ぜ合わせ、カツオのたたきを加えて絡めます。大葉は千切っておきます。
- ② 麦ご飯を器によそい、その上に大根サラダ、①のカツオ、大葉の順で盛って完成です。

管理栄養士の
簡単レシピ



第41回日本環境感染学会総会・学術集会での発表と参加のご報告

当院では、日々の感染対策向上目指し、学会活動を積極的に行っております。今年度は、パシフィコ横浜にて7月9日～11日で開催されました『第41回日本環境感染学会総会・学術集会～みんなで育む未来の感染制御～』へ当院から7名の職員が参加し、うち3名が初めての学会活動となりました。今回も学会参加だけではなく『地域包括ケア病棟における手指衛生の遵守向上への取り組み』というテーマで発表を行いました。

感染制御室・
感染制御子一〇



発表では、消毒薬の使用量の見える化、見えない汚れを数値化してスタッフへ共有する取り組みを行いました。取り組みの結果、スタッフの自発的な意識向上につながり、1日の消毒薬の使用量、手洗いの回数が大きく向上に繋げることが出来ました。大きな学会での発表は緊張しましたが、当院の取り組みを学会参加者へ共有することができ貴重な経験にもなりました。今後も積極的に取り組みを報告していきたいと考えています。

院内での 感染対策向上の 取り組み

今後の 感染対策への 意識付け

他施設の発表からも多くの学びがありました。手指衛生の遵守率向上には、個人の意識だけでなく、継続的な教育や実施状況の把握、フィードバックなどを組み合わせた組織的な取り組みが必要であると強調されている施設が多くありました。感染対策はただ知識を伝えることなく、現場で継続して実践できる仕組みをつくることが重要だと再認識しました。また、当院の感染対策の見回り活動においても、各部署を評価して指摘するだけではなく、現場のスタッフと課題を共有し、一緒に改善策を考えることで行動変容や感染対策の質向上につながることを学びました。

今回学んだ内容を自分の知識として終わらせるのではなく、病院職員が積極的に実践につなげられるようにしたいと考えています。感染対策をやらされるものとしてではなく、『患者さんを守るため、自分を守るため』に必要なこととして、主体的に取り組める環境づくりに貢献していきたいと思います。

これからも地域の皆様に安心して当院をご利用いただけるよう努めてまいります。



たばこが薬の効き目に作用するって知っていますか？

たばこの煙には、ニコチン、タール、一酸化炭素など4000種類以上の化学物質が含まれます。その中の成分には、肝臓にある「薬物代謝酵素」を活発にさせます。その結果薬の分解が速くなり、効果が弱くなることがあります。また、ニコチンは薬の副作用を増強させることもあります。逆に、禁煙・減煙すると薬の分解が遅くなり効きすぎや副作用が出やすくなることもあります。

* 影響を受けやすい薬

- ・テオフィリン系のぜんそく薬
- ・ワルファリン（血液をサラサラにする薬）
- ・一部の鎮痛薬
- ・一部の抗不整脈薬
- ・一部の抗精神薬
- ・カフェインを含む総合感冒薬
- ・インスリン など

* 喫煙中に制限のある薬

- ・ピル等のエストロゲン含有製剤
⇒喫煙で心血管リスクが問題になる為
35歳以上、1日15本以上では禁忌
- ・ピロリ菌の除菌薬
⇒たばこにより薬の効き目が弱まって
菌成功率は下がるという報告があるため、
除菌治療中は禁煙が推奨

上記以外にも、まだ解明されていない「化学物質と薬の相互作用」はあるようです。たばこ薬の関係でいちばん大切なことは、「喫煙状況が変わったら、薬の効き方も変わる可能性がある」ということを知っておくこと。医師・薬剤師に「吸っているか・やめたか・減らしているか」を伝えることが大切です。

薬剤科

今年も“あい”に、にぎやかな夏がやってきました！
夏の活動の様子を、ご紹介いたします。

夏恒例！スイカ割り



7月夏祭り行事として、スイカ割りを行いました。「右！」「もう少し前！」と皆さんの声援を頼りに挑戦！笑い声いっぱいの楽しい時間となりました。割れたスイカは、みんなでおいしくいただきました。



あいのひとコマ

歌を歌ったり、新聞を読んだり、手芸をしたり、塗り絵をしたり。特別な行事のない日も、それぞれが思い思いに過ごす、ゆったりとした時間が「あい」には流れています。

「看多機あい」の活動報告



・・・レクレーション活動と地域の連携・・・

トマト、実りました！



前号でご紹介した「あい」のトマトが、真っ赤に実りました！無事に収穫し、利用者さんにも召し上がっていただきました。自分たちで見守ってきたトマトの味は格別です。



新座市福祉フェスティバルに参加しました。ステージを観覧したり、体験コーナーを楽しんだり、地域の皆さんと触れ合いながら楽しいひとときを過ごしました。

福祉フェスティバルへ

厳しい暑さが続いた夏も、少しずつ秋へ移り変わる季節となりました。今回ご紹介した行事や外出はもちろん、日々の何気ない会話や笑顔も、私たちにとっては大切な時間です。これからも利用者さん一人ひとりの「その人らしい時間」を大切にしながら、季節を感じられる楽しみを一緒に見つけていきたいと思います。

地域医療センターのご案内

訪問診療

様々な理由で通院が難しい患者さんが、ご自宅で安心して過ごすことができるよう、医師が定期的にご自宅を訪問して診察のうえ、必要な処置や処方を行います。

お問合せ

電話：048-479-7583（直通）



居宅介護支援事業所 あおぞら

介護のサービスの相談、手配、調整を支援いたします。

お問合せ

電話：048-478-2653（直通）

FAX：048-489-3537（直通）



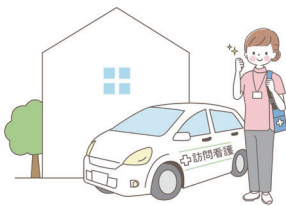
訪問看護ステーション みどり

訪問看護ステーションの看護師が、ご家庭を訪問して、療養生活の支援や心身機能の維持、回復を図るための療養上のお世話や診療の補助を行います。

お問合せ

電話：048-482-7580（直通）

FAX：048-479-2787（直通）



歯科・口腔外科、摂食嚥下センター

お住まいに歯科医師、歯科衛生士等が訪問し、お口のケアや嚥下のリハビリテーションや歯科治療を行い、楽しく、安全にお食事ができるようにお手伝いします。

お問合せ

電話：048-481-5865（直通）



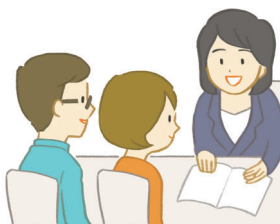
医療相談室

患者さんあるいは、患者さんのご家族の方々が、病気に伴って生じる種々の問題でお悩みのとき、その解決のお手伝いをさせていただきます。

お問合せ

電話：048-478-0992（直通）

FAX：048-489-3537（直通）



看護小規模多機能型居宅介護 あい

当施設では要介護認定（要介護 1～5）を受けている医療ニーズの高い方々を対象に、心からくつろげる環境をご用意しています。

お問合せ

電話：048-485-8797（直通）

FAX：048-482-7666（直通）



南部高齢者相談センター

住み慣れた地域で、自分らしい生活を続けられるように介護・福祉・保険・医療の総合相談を行っております。

お問合せ

電話：048-487-8263（直通）



診療科のご案内

- ◇内科 ◇外科 ◇消化器科 ◇乳腺外科 ◇形成外科 ◇整形外科 ◇泌尿器科
 ◇血管外科 ◇小児科 ◇耳鼻咽喉科 ◇腎臓内科 ◇循環器内科 ◇神経内科
 ◇糖尿病 ◇内分泌科（甲状腺） ◇肝臓内科 ◇呼吸器・喘息・禁煙外来
 ◇皮膚科 ◇眼科 ◇歯科・口腔外科 / 摂食嚥下センター
 ■透析センター ■健診センター ■リハビリテーション室

受付時間・休診日

受付時間

午前 8:00 ~ 11:00
 午後 12:00 ~ 16:30

お問合せ

ナビダイヤル：0570-00-5168
 歯科予約：048-481-5865（直通）

休診日

日・祝日・年末年始
 ※急患は随時受付しております。

待ち時間短縮のため予約制を導入しています。
 予約は、お電話または受付までお申し付けください。
 当日来院の患者さんも診察しております。

堀ノ内病院公式アカウント



(旧 twitter)



instagram



診療予定など詳しくは、
 当院ホームページを
 ご覧ください。

堀ノ内病院公式 HP



電車で お越しの方

- 西武池袋線 ひばりが丘駅北口より
朝霞台駅行・志木駅南口行・新座営業所行きバス7分
貝沼下車徒歩7分
- 東武東上線 朝霞台駅南口よりひばりが丘駅行きバス21分
貝沼下車徒歩7分

車で お越しの方

- 外環自動車道 和光インターチェンジより県道36号経由で30分
- 関越自動車道 所沢インターチェンジより川越街道経由で30分

編集後記

食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋。どれも捨てがたいですが、やはり食欲には勝てませんね。今年こそ運動も頑張ろうと思いつつも、まずは秋の味覚を楽しみたいと思います。…運動はそのあとで！ (K・T)

秋らしさがグッと深まり、過ごしやすい季節になってきました。

食べ物も実りの秋を迎え、栗やさつまいもと美味しいものが増える季節。

秋の味覚を楽しみつつ、季節の変わり目ですので体調に気を付け過ぎていきましょう！

(H・S)



日本医療機能評価機構
 認定第 JC2371 号

2026年10月1日発行
 発行責任者 / 清水 利夫
 編集者 / 広報委員会

社会医療法人社団

堀ノ内病院